

---

# 贅沢な時間

杏時

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

贅沢な時間

### 【Nコード】

N8207L

### 【作者名】

杏時

### 【あらすじ】

休日、快晴、悩み事はおいといて出かけましょう。

**(前書き)**

覗き見程度に。

大好きなアーティストの歌を聴いている。

車窓の向こうに流れる晴れ晴れとした景色と同じ、澄み切った気分  
で。

青空と、初夏の山々。

ごく淡い水色に、濃い緑色。

はてな。

水色に深緑って組合せ、色彩学的にはどーなの？

そこに、真っ赤な車に乗った、黄色い服を着た私。

大自然を、なんか私ひとりがウルサクしちやっつてすんませーん。

陽気なもんだ、自分。

曲が、変わる。

ドライブには、このアーティストの、このアルバム。

彼女の声、メロディー、詩、詩の行間から伝わる思想から、見てい  
る世界まで…

私が陽気だろうが、平常心だろうが、かまやしねえ…

心の奥深くの、ずっと誰かに気付いて欲しかった、探してほしかった扉を、軽々と見つけノックする。

嬉しくて、喜びが心の杯から溢れ出してリンパ液と共に全身へ駆け巡る。

雨の日のドライブも、それはそれで、良ろし。天候や季節が変わっても、同調しつつ変わらない心の扉。

彼女が生き、歌う限り、私の生活に潤いと深い癒やしを与えてくれるんだろう。

しかし来週はお給料が入るので、高いお金払ってヒーリングマッサージでリッチに潤いと癒やしを得ます。

どちらも必要なんだから仕方ない。

欲張りに、明日もがんばりましょう。

(後書き)

宇多田ヒカルに思いを巡らせてみました。ブログでやれってか？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8207/>

---

贅沢な時間

2010年10月15日22時12分発行